

資料：すべての授業を終えての感想

授業を終えてみて、生徒の内からの「問い」を全体の中に位置づけることで、そして、全体を授業の早い段階で把握することによって、生徒は、「筆者の述べ方に着目する力」、「想の展開を読む力」、つまり、「文脈を支えている言葉や文脈に支えられている言葉を読む力」が多少なりともついたように思います。また、情報を求めて読んでいく楽しさや、具体（内容）を通してみんなで意見を交換し合う、語り合う喜び、そして、それによってさらに自分の考えが深まっていくことに喜びを感じた生徒が多かったようです。

「金星大気の教えるもの」(伊藤和明)の学習を終えて	月	日	三年	氏名
---------------------------	---	---	----	----

○「金星大気の教えるもの」(伊藤和明)の学習では、皆さんの初発の感想や気持ち・疑問から、この「金星大気の教えるもの」の全体の構成をまずつかみましたが、こういった学習の仕方はどうでしたか。みなさんの感想・意見を聞かせてください。

・書くのが大変だったけど、一つ一つ見ていってはいじめは難しく思うに思ってたけど案外やりやすかったと思う。自分が考えていることよりもオンの考えが分かったのが良かった。流れがどうだかよく分かった。私も見た目でみんなの思いが分かってきた。
 ○また、「金星大気の教えるもの」(伊藤和明)の全ての授業を終えてみての学習の仕方に関する感想・意見等を聞かせてください。

・本当に金星大気の教えるものは何なのか分かった。こうして見ていると難しい所もあつたけど、筆者はこう思う、私達もこう思った等、少し奥が深いなつと思つた。スクラップBookもやったけどあまりそれに興味したものがなかつたように思つた。

○「地球環境の危機」では各章に各部の構造・要点を考えてもらい、発表するという学習の仕方を取りましたが、そういう学習方法はどうか。「自分たちがまとめてみて」、「他の班の発表を聞いて」で書いてみてください。

・2つの班が同じことについてやってたけど、私達と他の班では、一つのことをやっているのに書き方を一つ工夫すればものすごくまとめるられるのだと思つた。班でやるのもいいんだけど、少し難しくなつたように思つた。けれど、自分一人でやるよりも新しいことを見つけていくのがいいと思つた。